

# みんなのギカイ

12月の市議会の内容をわかりやすくお知らせします

## 目次

Pick up ..... P 1 ~  
行政視察..... P 3 ~  
一般質問..... P 4 ~  
きかせて!あなたの未来  
..... P 7

## ● 12月定例会 ●

# 宇陀市のこんなことが 決まりました。

12月定例会 12月5日～12月22日  
今回の議案は

市長提出議案 … 16件  
議員提出議案 … 1件  
選挙 … 1件  
計18件

今号では  
この中から  
5つを  
**Pick up**

全ての議案名と結果は、議会事務局  
にお問い合わせ下さい。

### Pick up 1

市職員の家族介護のための  
休暇が取りやすくなりました。

市職員の介護休暇が6か月の期間を3回まで分割して、取得可能になりました。  
職員が家族の介護を行うため、連続する3年間に  
内において1日の勤務時間の一部(2時間以内)に  
勤務しないことが相当と認められる場合における  
休暇が新設されました。

こんな意見が出ました

**Q** 介護休暇は2時間以内ならば朝夕の2回に分けて取得することが出来るのですか。

**A** 1時間単位を基本として朝と帰り1時間に分けることも可能です。

**Q** 扶養手当の改正はなぜ行つのですか。

**A** 人事院勧告による改正であり民間の実態調査の結果配偶者手当が下がり、さらに子育て重視という観点から子ども手当が民間ではほとんど上がっています。



### Pick up 2

上水道と簡易水道が  
統合されます。

現在宇陀市の水道事業は、対象人口5千人以上の上水道1事業と同5千人未満の簡易水道18事業で運営されていますが、国の要綱等の改正に伴い、簡易水道が平成29年3月末で廃止、4月から上水道に統合され、同一会計の事業となります。

こんな意見が出ました

**Q** 事業が一本化される中で、今後の水道事業の見通しはどうなるのですか。

**A** 上水1万5千人、簡水1万2千人合計2万7千人の事業となります。今後10年間の水道事業経営戦略を策定していきますが、施設の更新費用の増加や人口減に伴う料金収入の減少等、避けられない課題があります。

**Q** 上水と簡水のパイプを接続することはできるのですか。

**A** 圧の違いや高低差があり技術的にすぐには無理ですが、将来的には検討も必要です。

### Pick up 3

国民健康保険税の上限額が引き上げられます。

平成29年4月より国民健康保険税の課税限度額が4万円引き上げられ40歳未満では限度額が77万円に、40歳以上65歳未満では介護分を加えて93万円になりました。  
なお、限度額に達していない方については税負担が増えることはありません。

こんな意見が出ました

**Q** 限度額を引き上げないと富裕層の負担率が低くなってしまうが、限度額を宇陀市独自の判断でもっと引き上げることはできないのですか。

**A** 限度額は国が定める基準を超えて引き上げることはできません。平成29年度の限度額は93万円です、これに沿って宇陀市も見直しを行いました。

**Q** 政府が出している目安では国民健康保険税の負担率は所得の15%程度となっています。宇陀市の負担率は何%ですか。

**A** 約20%です。

● 20%は重すぎるのではありませんか。一般会計からの繰り入れによる負担軽減も検討してください。

### Pick up 4

官民連携で都市から起業家を誘致します。

奥大和の東部地域にあたる宇陀市を玄関口とした大和高原地域において、宇陀市、ロート製薬及び奈良県がパートナーシップを結び、食や農の分野を中心としたプロジェクト（Next Commons Lab 奥大和）を立ち上げる事で起業家を誘致いたします。

こんな意見が出ました

**Q** 地域おこし協力隊制度を活用することでしたが、この事業はどのように進めるのですか。

**A** 1年ごとに更新で最大3年を限度に起業家を募集します。宇陀市、ロート製薬、奈良県で協議会を立ち上げて、起業家の選定や育成を行います。

**Q** 一度業者が撤退した旧伊耶佐文化センターを再活用すると聞いておりますが、どのように活用するのですか。

**A** ロート製薬が改装を行いフードハブキッチンとして整備をします。ここでは、食や農に携わる方への支援をしていきます。

### Pick up 5

宿泊事業者誘致と防災公園の整備を進めます。

老朽化が進んでいる美榛苑に代わる宿泊施設の誘致および、周辺の公園整備を進めることになりました。

こんな意見が出ました

**Q** 宿泊事業者誘致事業と公園整備事業との関わりについて。

**A** 大きな遊休土地を確保している中、何らかの土地の活用が必要となってきました。積極的に応募して頂けるものと確信しています。

**Q** 新しい施設は簡易宿泊施設にするのですか、温泉を利用した保養施設にするのですか。

**A** ハイクラスというのではなく市民目線に立つて本当に行って良かったと言える施設を求めています。

事業を進めるための補正予算案は可決しましたが、左記の付帯決議を付しました。

「宿泊事業者誘致事業については、所管の常任委員会に資料提示を含め充分且つ適切な協議を適宜行うよう求める」



## 一 常任委員会合同視察に行きました

### 福祉産業常任委員会（長野県飯田市）（平成28年11月8日）



観光振興に向けての取り組みを担当職員の方々にお話を伺いました。推進するにあたっては行政側だけではなく、地域住民団体、公共交通機関、観光事業所、商工会、国、県などが観光ビジョンを共有し、連携されています。そして、個々の施策などを具体化したロードマップを作成することによって、それぞれが観光振興に向けて取り組む計画をしているとのことでした。宇陀市においても観光振興を進めるにあたっては、しっかりと明確化したビジョンを立てていくことが重要であると考えました。

### 総務文教常任委員会（岐阜県中津川市）（平成28年11月9日）



学校統合により廃校を利用した文化交流施設である「馬籠ふるさと学校」にお伺いしました。

この施設は、中津川市直営の青少年健全育成を目的とした社会教育施設であり、文化交流施設でもあります。施設内には、研修室、調理室、入浴施設があり、地域コミュニティ活動等に利用されており地域の方々に親しまれています。宇陀市内でも廃校利用に対し、行政、地域そして議会も含めて積極的かつ、有効的な活用について協議することが大切であると思いました。

## ちこり村に行きました(岐阜県中津川市)(平成28年11月8日)



農業を取り巻く現状が厳しい昨今「今から自分たちが地元でできることから始めよう」と西洋の高級野菜のちこりの国産化に挑戦されました。ちこり芋を有効利用した食品の開発、地元食材がふんだんに提供されるレストラン事業等を展開されています。注目すべきところは、60歳以上の方を優先的に雇用されていることです。「日本の農業の元気」「高齢者の元気」「地元の元気」を目指し、環境に配慮した循環型社会を目指す取り組みをされています。宇陀市においても取り組める要素はたくさんあるのではないかと感じました。

### 市民の皆さんから信頼されるための接遇の向上について

Q

1年前に一般質問で接遇の向上についての取り組み、宇陀市独自のマニュアルの作成などの提案をしました。この1年間でどのような取り組みをされたのかお聞きます。

A

職員一人ひとりの接遇意識の向上と職務に対するプロ意識を高めると共に、明るく親しみやすい市役所を目指すため今年4月から各所属において朝礼時に唱和を行っています。また12月2日にマニュアル「接遇の基本」を作成し、全職員に周知を行いました。このマニュアルを基本としておもてなしの心をもって実践し職員のスキルアップを図り、市役所全体のサービスの向上に繋げてまいります。

#### ●コメント

提案しました取り組みが実現化されたことをとても嬉しく思います。宇陀市全体のモチベーションの向上に繋がる取り組みを今後も推進して頂きたいです。

その他「地産地消と農のまちづくり」について質問しました。



まつうら りくこ  
松浦利久子議員

## 一 般 質 問

聞いてみたいなこと

こんなこと



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

## 県フォレスト・アカデミーを 宇陀市に

Q

県フォレスト・アカデミー(林業大学校)を誘致することは、宇陀市をはじめ県東部振興発展に大きな施設となると考えるが。

A

奈良県では、和歌山・三重両県の三県による広域連合による「(仮称)県フォレスト・アカデミー(林業大学校)」の開校を目指しています。現在は、設置場所選定等を含め調査を進めていると聞いております。宇陀市も県フォレスト・アカデミー候補地として、奈良県に誘致を申し込んでいますが、公式的な要望には大変厳しいものがあります。宇陀市が森林施策を進めるためにも、まずは、スイス連邦共和国のフォレスター制度のような森林経営のできる人材の育成、森林をマネジメントできる人材の養成が必須であると考えます。宇陀市では、将来、フォレスターを2〜3名採用し宇陀市に見合った森林管理方法や、持続可能な森林管理の仕組みづくりを行うため、今後の森林施策を進めていきたいと考えています。



みやしたこういち  
宮下公一議員

## 「宇陀市の危機管理体制は大丈夫か」 —感染症対策に対する組織対応—

Q

新型インフルエンザ等行動計画の策定はどのようになっているのか。現状と周知について。

A

27年に策定した行動計画では、通常のインフルエンザ対策は健康福祉部で対応するが、新型インフルエンザ等が国内で発生し、緊急事態宣言がなされると市長が本部長として対策本部を設置し全庁体制となる。行政の機能維持と市民への被害を最小限に食い止めるための情報提供や蔓延の防止は行政として重要な役割である。新型インフルエンザ等発生時には、市民の混乱を抑制するためにも、うだちゃん、ホームページ、広報等に発生状況等の情報を提供し、市民への周知・注意喚起を行うとともに、市民からの相談に応じるための相談窓口の設置などの対応を図る計画となっている。新型インフルエンザ等対策も災害対応と同様、市民の皆さんへの情報発信といざという時の対応に誤りが無いよう普段から市民に周知していく体制をとっていきたい。

Q

教育委員会としてのインフルエンザ対策は。

A

奈良県学校(園)における新型インフルエンザ対応マニュアルや各学校の保健計画に沿って、学校欠席者サーベイランスの入力、予防対策として、手洗い、うがいの励行、マスク着用、予防接種、消毒液の配置等をお願いしております。



にしうらまさのり  
西浦正哲議員

## 道(どう)について

Q

パソコンやスマートフォンの普及が進む中、簡単な操作で道路の陥没など異常を通報出来るアプリ制作についての施策はあるのか。

A

アプリを導入されている他市からの報告では受付件数のうち3割近くがいたずらであった。またすべての通報情報を道路・公園・ごみ、その他の通報に振り分ける業務が必要となってくる。年間の維持費用も250〜1000万円という話も聞いている。アプリによらずとも画像をメールででき、位置情報の入ったメールで対応可能と考えられる。他市のシステム採用に対するメリット・デメリットを十分に研究していきたい。道路の維持管理については、行政として精一杯対応していく。

### ●コメント

安心・安全のために市民を信じて頂き、年間の維持費用の削減が出来るようなアプリの導入を宜しくお願い致します。



にしおかひろやす  
西岡宏泰議員

## 松山重伝建地区を流れる水路 (前川)の保全と保存について

Q

16世紀後半に宇陀松山城と城下町が建設されました。城下町を構成する重要な

要素として、まち中にいく本もの水路が設置されました。その目的は、生活用水、防火用水、農業用水等で、現在もその役割は変わっていません。近年、老朽化によってところどころで、不具合が生じています。観光面と住居を守るためにも根本的な対応が必要です。保全と保存に向けての方向性と計画について問います。

A

近年、観光客も増え、重伝建の魅力を伝えるため、前川は重要な要素です。当初道路の中心にあった水路が明治後期に両側に移設されました。水路の側壁は石積みのため、目地に隙間ができていたり、水路底のコンクリートがなくなったりで、水漏れも起きていました。そのため、平成26、27年度の松山通り美装化工事の時には、水路底や石積み目地の補修を行いました。今後は、地域住民や関係機関とも協議し、統一した整備方針を整え、文化庁とも協議しながら、水路の改修事業に取り組みたいと考えています。



やぎかつひこ  
八木勝光議員



## 宇陀市の観光について

Q

観光の産業化について

A

宇陀市の観光客は少なからず増加傾向にあります。観光産業については、宇陀市の観光におきましては、都会の観光地とは異なり、2つの道の駅やかえでの郷「ひらら」、保養センター美榛苑等各地域にある中核となる観光施設に集約した観光産業のPRやそれぞれの観光施設の活動が多くの観光産業者の発展となるようそれぞれの観光事業者と協働していく考えです。また一方、奈良県東部地域唯一の観光振興窓口として、また大和高原地域の大型宿泊施設として、今議会の中で宿泊事業者誘致と広域的な防災機能を有した公園整備を提案しています。この民設民営の宿泊誘致により、スポーツツーリズムや学生の合宿、インバウンドなどの宿泊者の交流人口が増えることによる観光産業の発展と共に、ウェルネスシティ宇陀市の健康長寿と福祉の向上、更なる雇用の創出につながると考えています。

●その他の質問事項

健幸都市「ウェルネスシティ宇陀市」構想について



ひろざわ たくひで  
廣澤孝英議員

## 自治会要望への対応と自治会への支援について

Q

人口減少や、高齢化の進展などにより、自治会運営が年々厳しい状況になってきており、自治会への支援強化が必要と考えますが。

A

道路修繕等の自治会要望については、要望内容を精査し、最大限対応していきます。自治会への補助金は現状の基準を当面、維持します。補助金以外の支援については防犯灯のLED化や掲示板設置、コミュニティ施設整備補助金など自治会課題に応じた支援拡充に取り組んできました。今後も地域の課題解決に向けて自治会や地域の皆様と連携して取り組んでいきます。



きくおか ちあき  
菊岡千秋議員

## 出産・子育て安心のまち（日本一）を目指すために

Q

宇陀市の「結婚・出産・子育ての切れ目のない支援」の更なる充実に向け

A

少子高齢化、人口減少が止まらない宇陀市にとって定住の促進、子ども達を増やすことは重要な課題。その為には、都会に出なくても結婚して家庭を持ちやすい環境を、また、子育てしやすい環境をつくることは、まちづくりにとって必要不可欠である。現在、合計特殊出生率は、国は1.46、県は1.35、市は0.93（「創生総合戦略」の目標は1.40）で極めて低い状況にある。主な原因は未婚者の増加と晩婚化、晩産化にある。平成23年度より結婚支援事業として、結婚を望む男女の出会いの場を創出、婚活イベントを推進している。参加者も多く実績も出ているので更に充実発展させる。市では宇陀レシピとして、結婚・妊娠・出産・子育てとキメ細かな支援をしている。県内外からの宇陀市モデルの問合せも多く、テレビ、新聞でも取上げられている。「子ども・子育て会議」などで取組の分析、評価をしつつ保護者ニーズ調査など行い支援策の更なる拡充を図っていく。



ただ よしろう  
多田與四朗議員

## ふるさと納税について

Q

昨年よりインターネットサイトを通じてふるさと納税を受け付けるようになりました。サイトへの月ごとのアクセス数と寄付の実績、反対に宇陀市から市外に寄付をされた金額を教えてください。

A

サイトへのアクセスは多い月で1500アクセスほどです。27年度は約3100万円のふるさと納税を頂きました。宇陀市から市外への寄付による市民税の影響額は約530万円であり、この金額の75%は交付税の対象となります。また、11月から26品目であった返礼品を73品目まで増やしました。

●意見

ふるさと納税を億単位で集めるには、大手のふるさと納税サイトとの提携が必須です。宇陀市が利用しているサイトは広告宣伝に力を入れているとは言い難いのが実情です。クラウドファンディングなど、新しい手法を取り入れつつ、ターゲットを明確にして、複数のふるさと納税サイトとの連携を進め、改善をしていきたいと思います。



かついたろう  
勝井太郎議員

# きかせて！あなたの未来

No.7

宇陀市のワカモノが将来の夢を語るコーナーです。



高校生の時に「国立曽爾青少年自然の家」のボランティア資格を取ってから、自然の家を中心に、子どもたちの笑顔を糧にボランティアとして、大学卒業まで関わってきました。高校卒業時は、体育教師を目指しての大学進学でしたが、大学在学中にラフティングというスポーツに出会いました。このことが今の私を支える基盤になっています。大学を卒業して、仲間の多くは職に就く中、私は、徳島県三好市の吉野川を拠点に活動する、女子ラフティングチーム「ザ・リバーフェイス」のメンバーとして、このスポーツに夢中になっています。これでいいのだろうか、と自問自答することもあります。私しか歩めない唯一の道だと信じています。この道が何処に行き着くのかはわかりませんが、今は、ひたすら、我が道を歩み続けることが、私の将来を決定するのだと確信しています。

おもしろ のぞみ  
大森 望さん（大宇陀出身 23歳）

## 募集します！

### きかせて！あなたの未来

上記のコーナー「きかせて！あなたの未来」に登場していただける宇陀市内にお住まいのワカモノの皆さんを募集します。

今、未来に向かって頑張っていること、将来の夢などをこのコーナーで語りませんか？

住所・電話番号・氏名・年齢・学生の方は学校名と学年・保護者氏名・社会人の方は職業を明記の上、自分の思いを270字以内にまとめ、写真添えて議会事務局へメール(gikai@city.uda.lg.jp)または持参か送付して下さい。

年齢は問いません。いきいき輝くワカモノの皆さんの応募をお待ちしています。

## 次回 3 月定例会

| 日  | 月             | 火             | 水             | 木             | 金              | 土  |
|----|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|----|
|    |               |               | 3/1           | 2             | 3              | 4  |
|    |               |               |               | 本会議<br>(議案提案) |                |    |
| 5  | 6             | 7             | 8             | 9             | 10             | 11 |
|    | 本会議<br>(議案質疑) | 常任<br>委員会     | 常任<br>委員会     |               | 予算<br>委員会      |    |
| 12 | 13            | 14            | 15            | 16            | 17             | 18 |
|    | 予算<br>委員会     |               |               |               |                |    |
| 19 | 20            | 21            | 22            | 23            | 24             | 25 |
|    |               | 本会議<br>(一般質問) | 本会議<br>(一般質問) |               | 本会議<br>(討論・採決) |    |
| 26 | 27            | 28            | 29            | 30            | 31             |    |
|    | 予備日           |               |               |               |                |    |

10：00開会（変更の場合があります）

## 編集後記

編集委員  
井谷憲司

寒さ厳しき2月。陰暦では『如月（きさらぎ）』とも言い、語源は諸説あるようですが、寒さで着物を更に重ねて着ることから『着更着（きさらぎ）』とする説が有力だそうです。寒さが厳しければ厳しいほど、まもなく訪れる暖かい季節を満喫出来るものと楽しみに待ちたいと思います。さて、以前の議会だよりでもご紹介しました『タ

ブレットを使用した会議システム』もいよいよ3月議会から本格運用されます。本会議等の会議の効率化や、膨大な資料の管理機能の向上による紙資料の大幅な削減効果、更には議員の日常活動の中での市民の皆様との対話にも正確な情報提供が可能になってきます。今後も工夫を重ね時代に適応した議員活動の向上につなげて参ります。

お問い合わせ(議会事務局)

電話 0745-82-5771  
IP電話 0745-88-9082  
FAX 0745-82-0139

宇陀市ホームページ

<http://www.city.uda.nara.jp/>